

平成30年度事業報告

■法人管理

(1) 総会の開催

・通常総会

開催年月日 平成30年 6月 4日

議決事項 平成29年度事業報告、決算及び監査報告について

(2) 評議員会等の開催状況について

・5月度理事会

開催年月日 平成30年 5月18日

議決事項 平成29年度事業報告、決算及び監査報告について

・6月度理事会

開催年月日 平成30年 6月 4日

議決事項 役員互選

・9月度理事会

開催年月日 平成30年 9月 3日

議決事項 収支補正予算(案)にていて

・3月度理事会

開催年月日 平成31年 3月19日

議決事項 平成31年度事業計画(案)、収支予算及び資金調達及び設備投資の見込み(案)について

■観光振興に関する事業

1 趣旨（目的）・まとめた理由

本事業は、萩市の観光を振興するために、観光行事の実施、観光客の誘致宣伝、萩市の観光客受入態勢の整備を行うことにより、市内外の交流人口の拡大を図り、経済の波及効果と雇用の創出により、地域社会の健全な発展を目指すものである。

2 事業

(1) 観光行事实施事業

【事業内容】

萩市の歴史や風土等に関連する様々な観光行事を主催・共催し、観光客等に楽しんでもらうことや萩を市内外にアピールすることを通じて、より多くの観光客が萩市を訪問するきっかけづくりを行い、萩市の観光振興を図った。

【周知方法】

ホームページへの掲載、チラシの配布及びポスターの設置（道の駅、町内会、県内官公庁等約100箇所）

広報はぎへの掲載等

【体制】

主催事業 役職員10名前後（萩観光小町含む）

共催事業 実行委員会形式により実施又は自治体等の他団体との共催により行う。協会は、企画・運営に参加し、実行委員会への負担金や旅費等の経費負担を行った。

【協力・委託】

事業の内容によって、地域のスポーツ少年団等や公募ボランティアの協力を得て実施した。また、協会では対応できない専門的なものや会場等設営にかかる業務については市内事業者へ委託し実施した。

(取組)

○萩の夏の風物詩「萩・万灯会（迎え火）」

萩藩主毛利氏の菩提を弔うため、大照院参道や石灯籠などに約4,000個の蠟燭を灯した。

- ・期日 8月13日（月）
- ・場所 大照院
- ・協力 スポーツ少年団 30人
- ・体制 役職員10名前後とスポーツ少年団で石灯籠などに蠟燭を灯す。
- ・平成30年度実績 参加者 6,800人（平成29年度実績 6,600人）

○着物ウィークin萩プレミアムの開催（共催）

江戸時代の風情が残る世界遺産の萩城下町で、着物を着てまち歩きを楽しんでもらう観光行事。

- ① 着物レンタルサービス・着付け（専門事業者（ボランティア）の協力あり）
- ② 着物パスポート（着物を着ている方の食事・買い物の割引等）の配布
- ③ 和の心を楽しむ体験プログラムの実施
- ④ 無料写真プレゼント
- ⑤ 着物フォトコンテストの実施
- ・期日 10月1日（月）～21日（日）
- ・場所 萩城下町周辺ほか市内各所
- ・体制 実行委員会（事務局は協会、メンバーは町内会長や呉服商、旅館組合商店街の約20団体）形式により実施
- ・協力 公募ボランティア延べ人数 約200人
- ・平成30年度実績 参加者 8,680人（平成29年度実績 10,800人）

○萩観光シーズン開き

1年間の観光振興と観光客の旅行中の安全を祈願した（民踊の奉納、ふく鍋のお振舞い）

- ・期日 2月3日（日）
- ・場所 萩城跡指月公園
- ・協力 男なら保存会
- ・体制 役職員10名前後が神事等へ参加すると共にふく鍋の提供を行った。
- ・平成30年度実績 参加者 150人（平成29年度実績 150人）

○萩・しろ魚まつり

萩の早春の風物詩である「しろ魚のおどり食い（お振舞い）を体験できるまつりの実施（しろ魚料理等を使った模擬店も併設）。

- ・期日 3月3日（日）
- ・場所 山口県漁協萩地方卸売市場
- ・協力 萩しろ魚組合
- ・体制 役職員15名前後（萩観光小町含む）
- ・協会負担 おどり食いの無料体験
- ・平成30年度実績 参加者 18,925人（平成29年度実績 23,000人）

○見島観光滞在型促進事業

新たな観光資源の発掘と体験プラン作りを行った。

- ・期間 平成30年5月～平成31年3月
- ・場所 萩市見島
- ・協力 見島観光協会（無償）
- ・平成30年度実績 体験プラン10プラン造成、パンフレット作成

○萩まるごと和装事業

- ①着物イヤーパーポートを発行（４月・７月・１０月・１月の４回発行）。
- ②萩の歴史・文化・食をPRする「萩タイムズ」を３万部発行し、観光のAGTや近隣の空港、道の駅等に配布した。
- ③明治維新胎動の地萩の男性を、より魅力的な人物へと変身させるべく外部講師を招聘して「萩男塾」を開催。心身ともに鍛え上げられた萩男が、椿まつり会場にて和装で萩の魅力を発信した。

(2) 観光客誘致宣伝事業

他団体との連携による共同観光宣伝やホームページ等を活用した情報発信、観光小町による観光PR等により、萩市の魅力を市内外に発信し、萩市の観光客の増加を図った。

○他団体との連携による共同観光宣伝の実施

他団体の観光宣伝隊や他市の交流事業へ職員を派遣し、萩市外での萩市の観光PRを行った。

- ・対象者 萩市外の国民
- ・実施（周知）方法 他団体と協力し、萩市外において、街頭PRを行ったり、旅行業者や情報誌業者、地元テレビ局へ訪問して宣伝等を行った。
- ・体制 協会職員約１～３人、観光小町１～２人が観光交流事業及び観光宣伝隊に参加した。

（平成30年度の連携先及び実施方法等）

ア ながと路観光連絡協議会の観光宣伝隊（メンバー：長門市、萩市、美祢市、阿武町、津和野町、益田市及び各観光協会）の一員として、広島方面において、萩市等の観光宣伝を行った。

イ 山口ゆめ花博の市町PRコーナーにおいて、当協会職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。

ウ 萩市・下関市連携事業の一員として、鹿児島県で、萩市の観光宣伝を行った。

エ 山口県主催の東京・大阪での観光情報発信会へ当協会役職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。

オ JR西日本主催の大阪駅・博多駅で開催のDC関連イベントへ当協会職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。

カ 萩・世田谷幕末維新祭りへ当協会職員が参加し、萩市の観光物産宣伝を行った。

キ 萩市台湾観光誘致宣伝隊へ当協会職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。

○ホームページ等による情報発信

ホームページ等による情報発信を行い、萩市の魅力及び見どころ等を萩市内外に発信した。

- ・内容 ①公式ホームページ「ぶらり萩あるき」、Facebook、Instagram

②観光行事関連の観光ポスター、リーフレット、パンフレットの作成

③テレビ、ラジオ、新聞等マスコミ関係への観光行事等の情報提供

・ポスター等配布場所 県内市町、道の駅、町内会等約100箇所、その他団体との連携事業等においても持参し情報発信を行った。

・平成30年度実績

①ホームページアクセス数等 アクセス数97万件、ページビュー数358万件

②リーフレット等の作成数 15万部

③情報提供数 65件（旅行雑誌出版社、新聞等21件、NHK、KRY、TYSテレビ等44件）

○萩観光小町の選任・PR活動

公的観光諸行事への参加及び取材等に対応する萩観光小町を選任及び委嘱し、萩市の観光宣伝を行った。

・募集方法 女性を対象に、チラシの配布（市内公民館、企業、萩市記者クラブ等約30箇所）、ホームページや広報はぎへの掲載等により募集を行った。

・人数及び資格 2人 萩市在住で満18歳以上の女性

・任期及び業務 2年間 主催行事及び他の観光関連行事において観光資源を紹介し、観光振興に寄与すること。年間一人20回程度の観光行事に参加した。

・選任方法 審査委員による面接により選任。

・審査委員 当協会会長、副会長、専務理事

・実施方法 募集要項により萩観光小町の応募者を募り、萩観光小町にふさわしい女性を観光協会審査委員が面接により選任し、当協会が委嘱する。なお、本人へ10万円及び推薦者へ1万円の賞金を支払った。

・平成30年度実績

2人選任及び委嘱 猪俣風光、藤原真由

諸行事参加及び取材実績 12回

○観光調査事業

萩市へ訪れる観光客動向調査を実施し、地域別観光客数等の分析を行うことで、当協会の観光戦略の資料とし、効率的かつ効果的な観光振興に資するとともに、社会に活用されるよう、その調査結果を公表した。

・調査内容 観光施設を訪れる観光客数、宿泊客数、観光施設に併設される飲食店の来客数について、年齢層、男女別、月別、一般・修学旅行別、県別、国別等により、調査を行った。

・調査方法 調査対象施設等への電話又は依頼文書により資料（観光客数統計）を収集した（文書は12月末に発送、報告は1月上旬まで）。

・調査結果の公表 来萩観光客数（市から情報提供）及び宿泊者数のみを発表。2月に調査結果をマスコミ等へ発表した。

・調査の対象施設等

- ① 観光施設等：東光寺、高杉晋作誕生地、松陰記念館等 10 施設の観光客数及び消費額を調査した。
- ② バス等の観光事業者 タクシー、バス及び貸自転車の 11 事業者（利用人数及び消費額の把握）
- ③ 宿泊施設 50 ヶ所（一般客、修学旅行者及び国別を把握）
- ④ 飲食施設 3 ヶ所（昼食の一般客及び修学旅行者を把握）

・調査対象期間 1 月から 12 月末まで

参考：指月公園、松陰神社、木戸孝允旧宅、萩博物館、萩八景遊覧船、道の駅「萩しーまーと」、浦上記念館（萩美術館）、大型客船の 8 箇所の施設及びイベント参加者等の観光客数は市が調査把握した。

- ・平成 30 年観光客数 1, 355 千人、うち宿泊客は 410 千人
(平成 29 年観光客数 1, 420 千人、うち宿泊客は 430 千人)

(3) 観光客受入態勢整備事業

○観光協会等での観光案内

当協会事務所（萩駅横）、東萩駅観光案内所（東萩駅構内、職員 1 名常勤）において、訪問者や電話等での問合せに対し、観光の行程、見どころ等の案内、資料送付等を行った。

・周知方法 ホームページへ掲載及び各印刷物へ掲載（印刷物は道の駅、県内市町等へ配布することにより周知）

・体制 職員 8 名、臨時職員 2 名（協会事務所）、職員 2 名（東萩駅観光案内所）

・平成 30 年度実績

・観光協会事務所及び東萩駅観光案内所への訪問者等

35, 678 人 (平成 29 年度 34, 378 人)

・電話受付 12, 900 件 (平成 29 年度 14, 600 件)

・資料請求 1, 613 件 (平成 29 年度 1, 515 件)

・問合せ内容の例： 市内外観光地、行程、行事等の問い合わせ

■観光振興の拠点施設の管理運営、特産土産品の展示即売、観光案内に関する事業

【目的】

観光客の満足度を高めるため、萩市の歴史や自然のみでなく「見る、買う、食する」等の、より細やかな情報等を提供し、再訪を促すことを目的とする。

・周知方法 ホームページへ掲載及び各印刷物へ掲載（印刷物は道の駅、県内市町等へ配布することにより周知。）

【内容】

ア 観光施設等管理運営事業

イ 物品販売等事業

ウ 広告宣伝事業

エ 観光客案内事業

オ 研修会の開催

【対象者】一般及び会員、関係団体

(平成30年度取組)

ア 観光施設等管理運営事業

- ・指月公園、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋の入場料徴収業務（入場料は萩市収入）
- ・萩市観光「自然と歴史」情報センター及び萩市自然と歴史の展示館管理業務

イ 物品販売等事業

- ・観光資料(書籍、ガイドブック、パンフレット、絵葉書など)、テレホンカード及び土産品の展示販売
- ・自動販売機による飲料販売

ウ 広告宣伝事業

- ・ホームページに会員等の広告(全体の6%、27件)を掲載し、広告料を徴収する。
- ・平成30年度実績 広告料 1, 126, 000円
(平成29年度実績 広告料 1, 021, 000円)

エ 観光客案内事業

○観光客へ会員であるホテル、旅館等の案内及び食事処、土産店への案内を行う。また会員へ取材協力依頼を行った。

○観光ガイドによる観光客等（個人及び旅行社等の依頼）の案内

当協会職員1名をガイド担当として選任し、観光客等からの依頼に対し、現地に出向いて、市内観光施設や名所旧跡の案内及び解説を行った。

・体制 職員1人

・実施方法 一人のガイドが2～3日に一回程度（約2.5時間/1回）観光客等の車に同乗或いは徒歩で、現地において観光案内等を行った。

・ガイド料金等 2～4名3,500円、5名以上5,500円（いずれも2時間以内）

・平成30年度実績

一般旅行者等の依頼による案内275回 4,999人 ガイド収益1,322,800円

（平成29年度実績）

一般旅行者等の依頼による案内258回 3,839人 ガイド収益1,301,400円

オ 研修会等の開催

萩市のイメージアップ、おもてなしの充実を図るため、外部講師を招聘し、或いは職員が講師となって以下の研修会を実施した。また、他団体等からの依頼により、職員を講師として派遣した。

（平成30年度実績）

① 講師(司会等)派遣

平成30年	5月14日	阪急交通社
	9月10日	萩商工高等学校
	9月19日	萩商工高等学校
	9月26日	萩商工高等学校
	10月 3日	萩商工高等学校
平成30年	12月16日	はぎの竹音チャリティーコンサート
平成31年	2月19日	萩西中学校

② 外部講師

ANA元客室乗務員を講師に迎え、接遇の基本と第一印象の重要性について実践を交えた講座を実施

平成31年 1月29日 おもてなし接遇講座 参加者 63名

平成31年 2月28日 訪日外国人おもてなし講座 参加者 72名

③外部研修

明治維新150年記念関連

「維新胎動の地萩 旧松本村を歩く」

平成31年 1月 5日（参加者 2名）

平成31年 3月23日（参加者 2名）

■萩版DMO事業

【目的】

地域DMOとして地域の稼ぐ力を引き出し、地域の誇りと愛着を醸成する取組を推進する舵取り役として、効果的な観光事業を展開し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを多様な関係者と協同しながら取り組むとともに、会員事業所の更なる発展に寄与する取組を実現する。

【事業】

(1) 観光地デジタルスタンプラリー

平成30年4月20日～12月24日を期間にJAFの運営する「観光地デジタルスタンプラリー」に参画し、地域を周遊する企画を展開した。デジタルスタンプラリー10箇所（萩・明倫学舎、萩城跡、萩反射炉、笠山・明神池、萩駅舎、須佐ホルンフェルス、萩阿武川温泉ふれあい会館、田万川温泉憩いの湯、萩往還、むつみひまわりロード）また、10月7日デジスタデーイベント（道の駅萩しーまーと）への参加。

(2) 地域観光振興事業

平成30年10月27日に萩・明治維新150年記念事業として実施された“食の祭典 食談”に協働し、地域観光振興を行った。

(3) 山陰本線活用事業

山陰本線を観光列車「〇〇のはなし」を活用した特別列車を運行した。

①萩博物館とタイアップした『深海魚ウォッチングツアー』

開催日：8月8日、8月22日 参加者：96名

②『ジオ列車ツアー』 開催日：2月7日 参加者40名

③『地酒列車ツアー』 開催日：3月7日 参加者40名

④『椿まつりと萩城下の雛たちツアー』

開催日：3月10日、3月16日、3月17日 参加者：102名

(4) 地域紹介フォトコンテスト事業

萩まちじゅうフォトコンテストの開催

募集期間：平成30年10月1日～平成31年1月31日

応募総数：330枚 応募人数：94名

(5) MICE誘致事業

萩市で開催されるMICEの誘致促進を目的とした助成支援制度。当年度中は7団体が実施 799名が来萩された。

(6) 食関連事業

「古地図でめぐる萩まるごとクーポン」の実施。開催期間：9月～12月

「はぎ御膳・はぎ弁当」の事業を昨年引き続き実施。

(7) 魅力ある観光パンフレット作成事業

観光客からのニーズが高い民間情報を含むパンフレット「はぎ散歩」を作成した。また、冊子「萩を歩く」の改訂増刷を行った。

(8) 広告宣伝助成事業

市内事業者に対し、経営計画に沿った販路開拓に取り組む際に必要な宣伝費の一部を助成した。本年度は、16事業所（旅館ホテル7社、施設9社）の申込があった。

(9) 市内移動充実事業

平成29年度のDMOワークショップで提案された市内移動充実事業を萩・明倫センター基点に実施した。1人乗り超小型電気自動車を導入し、市内の観光コースの専用ナビを搭載した。実施期間：8月～11月 導入台数：6台

(10) ナイト観光マップ作成

ナイト観光の充実と消費の拡大を目的とした、「萩の旨旅」を山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部と萩市田町商店街振興組合と協働で発行した。

発行部数：5千部

(11) おもてなし業務

トワイライトエクスプレス瑞風や〇〇のはなしと、多くの観光列車の運行開始に併せて、多様なおもてなし、歓迎イベントを開催。

(12) インバウンド誘致

萩版DMOのメインターゲットである台湾にて宣伝隊を実施。台北の14社の旅行会社へ萩の最新の観光情報を提供した。

実施期間：平成31年1月16日～18日

(13) 多言語音声ガイドシステム維持管理

萩・明倫学舎を起点とした観光ルートを案内するアプリ“萩たびガイド”を維持管理した。世界遺産コース、城下町コース、ジオパークコースの3コースを設定し、対応言語は日本語、英語、仏語、韓国語、中国語の5言語対応している。

(14) 受入環境整備支援

萩市内で外国人観光客受入をしている事業者を対象に、フリーWi-Fi整備等の費用の一部を補助した。（1事業あたり補助対象経費100万円上限 補助率1/3）

(15) マネジメント責任者

萩版DMO事業推進に向けて、マネジメント責任者を配置し、萩版DMO戦略の実践やPDCAサイクルの管理を行った。

(16) マーケティング調査事業

DMO事業をPDCAサイクルで運用していく上で、必須KPIを把握するための調査を実施。市内及び地域でヒアリング調査を行った。

(17) マーケティングアドバイザー

萩版DMO事業を推進する中で、行政や観光関連団体だけでは解決できない課題を把握・分析し、その解決策を提案し導入、関係者のやる気や能力の引き出しの促進を支援する専門家を配置。